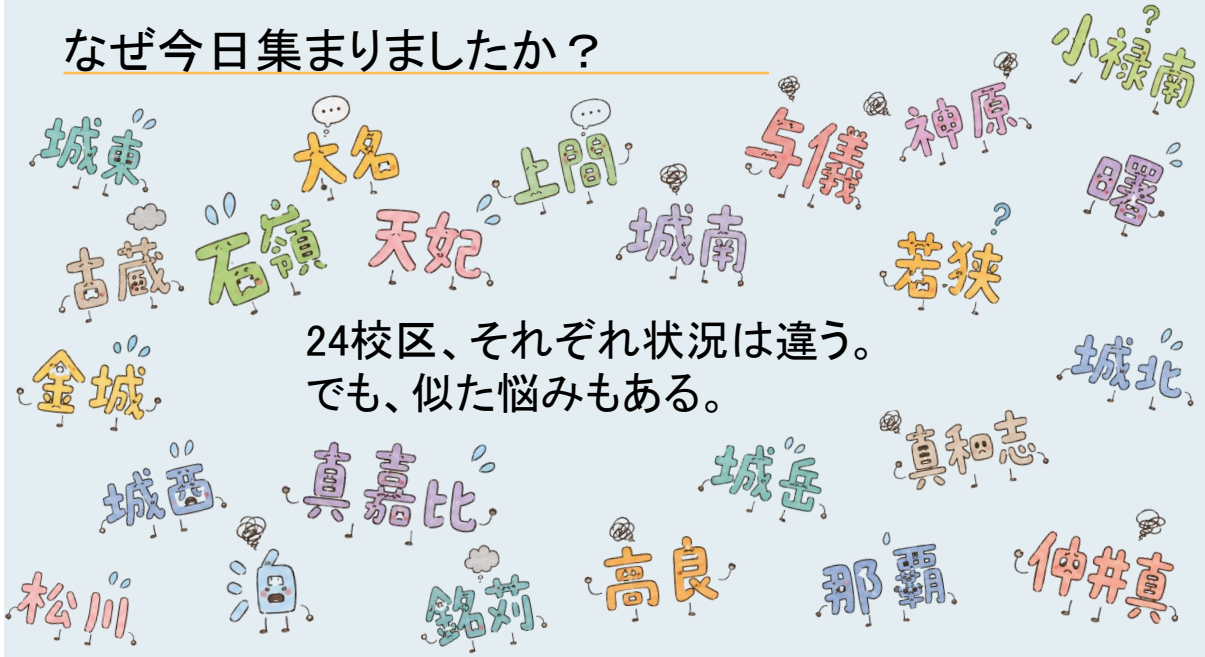
全体会（前半）

1



2

なぜ今日集まりましたか？



24校区、それぞれ状況は違う。
でも、似た悩みもある。

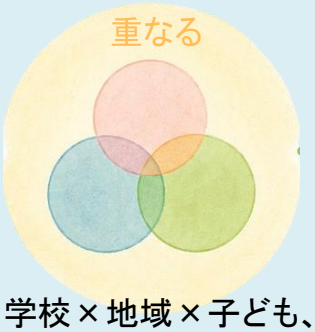
3

今日の目的・ゴール

みんなの声を出し合い、つながり合うことで、
「つながる・重なる・楽しくなる(楽になる)」
を一緒に体験していきます!



他校区の仲間や
相談先ができる



学校×地域×子ども、
×新しい方法などの重なり
を見つける



「これならできそう!」
を持ち帰り、
少し楽になる

4

まち協情報～ちょっとした変化など紹介～

真和志連合会



協議会移行



会長変更





たまご会

5

地域づくり推進方針策定までのプロセス



市民ワークショップの様子
全5回
60人の市民のみなさんが関わる

6

地域づくり推進方針策定までのプロセス



職員分科会の様子
全5回
44課68人の職員で構成

7

地域づくり推進方針策定までのプロセス



校区意見交換会の様子
約130人の参加

8

地域づくり推進方針策定までのプロセス



4地区方針勉強会
全4回

9

ビジョン策定の動き～真嘉比・仲井真の様子～

真嘉比小学校区
まちづくり協議会準備会
“アンケート”ポスティングの様子









仲井真小学校区まちづくり協議会
ビジョンワークショップの様子

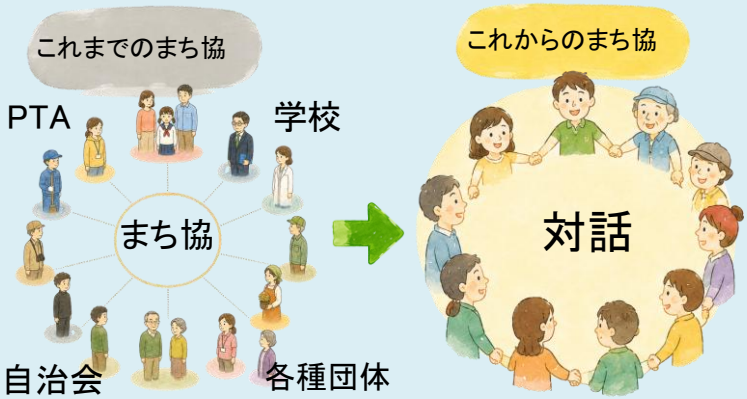
10



11

①まちづくり協議会とコミュニティ・スクール（2026.7.7座談会より）

まち協 は“組織”から“つながりの場” へ



まち協の役割

人や団体をつなぎ、
対話の入口をつくる

“対話”⇒ “つながり”⇒ “協働”

“ゆるやかなつながりのある社会”

12

②まちづくり協議会とコミュニティ・スクール（2026.7.7座談会より）

コミュニティ・スクール　は

子ども　を真ん中にした　地域づくり　である

学校





地域





― 那覇市立宇栄原小学校
工藤 直也 校長

13

③まちづくり協議会とコミュニティ・スクール（2026.7.7座談会より。プラス事例）

若狭小学校区まちづくり協議会　の事例紹介

若狭町の歴史をつなぐ未来プロジェクト





14

④まちづくり協議会とコミュニティ・スクール（2026.7.7座談会）

子ども は 支えられる側　だけじゃない!

これまで

大人が活動を用意する
子どもが参加する

これから

子どもが考える
やってみる
大人は挑戦を支える



「参加する人」から「一緒につくる人」へ

子どもを“地域の一員”として信じて任せる

15

⑤まちづくり協議会とコミュニティ・スクール（2026.7.7座談会）

地域の中の 子どもたち が “主体の姿”

那覇中まちづくり部イベント



小禄中ひよどり公園イベント



16

⑥まちづくり協議会とコミュニティ・スクール（2026.7.7座談会要約プラスα）

結局、大事なのは“対話”と“つながり”なんです!

“対話”

多様な人が、安心して意見を出し合い、
互いの考えを聴きながら、
“納得できる答え”を一緒に探すこと

“つながり”

地域社会に、観客は一人もいない

学校とも子ども達とも
つながっていきましょう



― 東京大学名誉教授
牧野 篤 氏

「つながる・重なる・楽しくなる(楽になる)」を
一緒に体験していきましょう!



― まなびとまちとと
宮城 潤 氏

17

情報発信の必要性について



18

感想共有～3人1組をつくろう!!～

まち協は異なり、
分科会番号も異なる
３人

同じ血液型で、
まち協は異なる３人



19

これまでを振り返って感想共有

・まち協最新情報の共有
・地域づくり推進方針その後について
・まち協におけるビジョン策定に向けた動き
・地域づくりとCSの関係について
・情報発信の必要性について
・事前アンケートから強みや弱みなど



20

全体会（後半）

21

おかえりなさい

☆さきほどの３人グループに
なってください。



22

プロジェクトメンバー募集!!



23